# アガパンサス

女性会 東海教区

第20期 第5号

発行者 鈴木貴美子

牧 摄 編集

名古屋めぐみ教会 印刷









「キリストが望んでおられる」 一生かされる喜びと祈り一 主 題

キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。 主題聖句 古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。

(第2コリント5章 17節)



### 巻 頭

「希望の道へ~弟を思って~」 ヨハネ15:9~12 東海教区 社会・奉仕部長 栄光教会牧師 内藤文子

色々な問題が起こってくる私たちの毎日。「愛する」ことが出来ない時、この聖句 の「わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。」の、神とキリス トを静かに思う時、原点に戻れます。また、他の聖句、ローマの信徒への手紙12: 15の「共に喜び、共に泣く」と言う、自分にとって相手の方と、無理に答えを早急 に出すのではなく、「現状を受け止め、ともに時を過ごすこと」の延長線上におのず と「行く道が見えてくる」ものであります。

私の中にはいつも、実の弟への祈りがあるので、聞いていただきたいと思います。

6年前の6月の末、深夜に電話がかかって来ました。大阪の弟の連れ合い、私より、 2歳下の当時49歳の義妹がくも膜下出血で、倒れ、手術は成功したものの、依然と してはっきりした意識はなく、この6年間寝たきりであることです。 (現在、目のま ばたきだけができます) 6年前の時点で子どもが小学生・中学生と二人いました。 企業戦士のようだった弟も、それからは仕事・育児・家事そして、病院通いと大変な 生活となりました。私も二人を預かったり、会いに行ったりしました。

この6年を弟は、よく歩いたと思います。電話で、料理や家事のことを聞いてきて 毎日奮闘しています。思いがけない困難を、生きていかなければならない厳しさ。け れどあの小さな家族も、涙を流しつつ毎日を乗り越えて行っています。2人の子ども もたくましくなりました。

落ち込んだ弟に絵本を紹介して一緒に読みました。佐野洋子さん作の『100万回 生きた猫』です。ご存知の方もいるでしょう。100万回生きて、100万回死んだ とらねこ。ある時は、王様の猫、ある時は船乗りの猫、ある時はサーカスの猫。この 猫を飼った主人たちはとら猫が死ぬとおいおい泣きましたが、当のとら猫は死ぬのな んか平気、一度も泣かなかった。けれど最後にトラ猫は誰のものでもない「のらねこ」 になって、白い猫と出会う。いつも一緒に過ごし子猫も生まれる。しかし、この白い 猫が死んでしまった。トラ猫は初めておいおい泣いて、泣いて、そして死んでゆき、

「もう生き返らなかった」 ある心理学者は、この白い猫との出会いが、とらねこの 「すべてを終わらせてよい心落ち着く死に場所」であったとも読み解いています。も うとらねこは生き返らなくてよかったのです。人は弱い、けれど、共に生きることで 支えあい、励ましあえる。そして、答えが見えない困難な中では共に時を過ごすこと、 神が示す「不器用でも愛を注ぐこと」が希望の道へと導いてくれます。





## 「女性会の集い」を開いて

新霊山教会 鈴木 皓子



10月4日(土)「女性会の集い」が新霊山教会とディアコニアで開催されました。

開会礼拝は新霊山教会で行われ、教会の椅子が足らなくて借りてこなければいけないほどの大勢の方々(80 名以上)が参加して下さいました。(内心、床が抜け落ちやしないかと心配しました。)

開会礼拝には、司式・説教・を後藤由起牧師により (使徒行伝4:8~14)

- ① 「救いは江から来る。」という確信をもつ。
- ② 救われ、癒された人が証人として立っている。
- ③ 神のことばを語り続けてゆく。

「私には金銀はないが持っているものをあげよう。 ナザ レの人イエス・キリストの名によって立ち上がりなさい」(使徒3:6)

教区の女性会はこれからも集まり続け証人として用いられように祈りながら働いて まいりましょう!という力強いメッセージがありました。

献金とお祈りの後、ルーデル教会式文に沿って横田弘行牧師・明比輝代彦牧師・関野和寛牧師・浅野直樹牧師・後藤由起牧師により整然として聖餐式が行われ祝福の中に礼拝を終ることが出来ました。

礼拝後には皆様と共に写真撮影後、特別養護者人ホームディアコアへ移動し小さな花瓶に可愛らしい野の花が添えられた8つのデーブルに分かれて昼食を共にし、楽しい交わりの時を持ちました。久し振りにお会いした方々と和やかに楽しく過ごす事が出来ました。

午後の関野和寛牧師のコンサートでは、初めて「牧師ロッカー」の歌を生演奏で聞く事が出来ました。なぜ、牧師が「ロック」なのかしら、シンボルのイラストでは、ルターがどうしてエレキギターをかかえているのかしらと思っていた疑問に、答えを頂きました。30歳代の若い先生ご自身の生き方とルターの生き方が重なって見えるようでした。

確か、静かな曲を演奏されると聞いていましたが、思いのほか元気な曲やオリジナルの曲が続き、「これが牧師のロッカーだ!」と私たちは歌を通して、先生からのメッセージを受け取りました。若い先生のエネルギッシュな歌とお話しを、ホームの利用者の方々と共に過ごせた事は良かったと思います。私達も、ほんの少しの若返り?の楽しい時を過ごしました。そのあと、今年もクリスマスの手作り奉仕の協力のお願いについて(デイアコニア・まきばの家へのクリスマスカードとプレゼントの)説明がありました。

最後に、閉会礼拝は、内藤文子牧師により「賜物なるキリスト」(第Ⅱ コリント 9:12~15) というメッセシージとお祈りがありました。

女性会開催に際して、教区役員の方々は、前日から泊まり込みで、行き届いた準備をして頂き感謝いたします。多くの方々の御参加を頂き有り難う御座いました。自然に恵まれ、癒しの風の吹く新霊山教会へ・福祉村へ、ぜひ、いらして下さい!お待ちしています。

2014年10月4日(土)新霊山教会とディアコニアで教区「女性会の集い」が行われ、約80名の姉妹が参加されました。5名の方に感想を書いていただきました。

このたびは、女性会のイベントに参加させていただきありがとうございました。 牧場を走り回る我が子の体力におどろかされ、たくましくなってきた姿に感激しました。 子どもの事で、こひつじ診療所に行くのに、一人では心細く、女性会があったのでいく事が出来ました。

名札や食事の席を用意して頂いて、自分の居場所があることがとても嬉しく思いました。 新霊山教会では、たくさんの牧師先生に囲まれているようで、初めて見る礼拝でした。聖餐 式に参加できたことに感謝します。自然の中で、子どもと楽しい時間を過ごせて癒されました

(高蔵寺教会 内藤 真美)

福祉村は去年も行かせていただきましたが、新霊山教会まで登ったのはなんと10数年振りではないかと思います。聖壇に掛けられた素敵な葡萄のタペストリーを懐かしく拝見しました。後藤由紀先生の真っ直ぐで力強い説教、関野先生の楽しいトークとちょっと切ないロックなコンサート!

ランチでは身内姉妹と強制的に引き離されたおかげで、他の教会の女性会の方々とお友 達になれ、楽しい交わりを持つことができました。

小さな葡萄の房が一面に織り込まれているタベストリーを思い、まだまだ知らない方は 沢山いるけれど、東海教区の女性一人一人が葡萄の房の様にこうして繋がっているんだな と感じ神様に感謝です。

新霊山教会の皆様、役員の皆様ありがとうございました。

(小鹿教会:細倉 道子)



会場教会としてご協力していただいた新霊山教会の皆さん





教区女性会の集いに久し振りに参加させていただきました。一面の茶畑や教会の周りの秋色の林になぐさめられ、広大な福祉村を一望して、それぞれの施設の働きの事を改めて思いました。礼拝では小さな会堂に満員の皆様と一緒に聖餐を受け、力強い説教を聞き、私達の方向が示され元気が出ました。食事の時には同じテーブルの他教会の方から活動の様子を聞けて参考になりました。

午後からの音楽とお話もディアコニアの入所者の方々と一緒に聞けて良かったです。エレキギターの音はちょっと苦手でしたが、お話を聞きながら、若い人には親しみやすいのかなと思いました。今回は組織の事とか、事務的な話題が少なかったので、のんびりしてしまいました。 教区の役員の方々がしっかり準備して下さり、男性の方も応援してくださったようで、楽しい集まりでした

(復活教会 太田泰子)

午前中は緑の木々に囲まれた新霊山教会の礼拝堂で心静かに開会礼拝と聖餐式、午後はディアコニアで入居者のみなさんと一緒に楽しくにぎやかに「ロックミュージック」、この対照的な組み合わせがとても新鮮でよかったです。

開会礼拝の説教をしてくださった後藤由紀牧師と、午後の「歌とお話」を担当して くださった関野和寛牧師、神様が使命感に溢れた個性豊かな若い二人の牧師をルーテ ル教会の「今日」と「明日」を担う牧師として遣わしてくださっていることに感謝で す。どちらからも元気をいっぱいいただいて「笑顔のまんま」名古屋に戻ることが出 来ました。

おぞましい天災や人災による悲劇が頻発する昨今、自分が生きていることが奇跡に思えたりしますが、関野先生のエレキと歌に合わせて皆さんと一緒に「そうさ、人生、生きているだけでまるもうけ。だから笑顔のまんま、OH!」と拳を上げて大声で叫ぶと、「神様にまるもうけの人生を送らせていただいているんだ!」と感謝と喜びの気持ちでいっぱいになりました。楽しくて元気の出る「集い」を準備してくださった役員の皆様本当にありがとうございました。

(名古屋めぐみ教会 藤原薫)

今回教区女性会の午後の部、関野牧師の歌とお話の時間に入居者様約20名と共に参加させて頂きました。改めて入居者様の分もお礼を申し上げます。牧師のユニーなお話や色々な歌を聴き(急遽参加させて頂く場面もありましたが)、大変楽しい時間でした。

今回は入居者様が参加でき、とてもその事が良かったと感じています。今後も教会 とディアコニアの繋がりの一つの形として、今回のような機会があると嬉しいなと思 いました。

(ディアコニア職員 眞野 純一)

# "福祉村と女性会の集い"に想いをよせて

高蔵寺教会 稲垣八重子

すがすがしい山麓の空気の中、にぎやかに登る人々、時々腰を伸ばしてさあもう少 し頑張ってと声かけあって、受付で交わされる再会の挨拶の声は山頂にこだ ましてはずんでいました。

鈴木会長を先頭に、今期最後の集会を福祉村で開催したいとの願いを、見事に果た され感動でした。

厳かに執り行われた礼拝と聖餐は、日ごろの思い煩いを忘れ、すべてを神様の恵み のうちに委ねた記念すべき日となりました。重荷を負って初参加された姉妹を感じ、 我が内にある信仰への不信等、日頃の生活に疲れ切っていた魂は喜びました。

新霊山の会堂に響く後藤由起牧師の説教は、正に今、何処の教会も行き詰まりを覚 える宣教への力となりました。デンマークの人々から受け継がれた宣教の旅路は、日 本の風土になじみやすく作られた会堂の外観からしても感じられます。わが身を低く して、その土地に住み生活する者の環境に心をよせ、神を宣教する熱さを感じないで はいられませんでした。

長い時を経て、ルーテル教会の中に「どっかり」と根を張り、天に向かって伸びよ うとしています。老いも若きも、他者の助けを必要としている人が暮し、命を天に移 す人、生きて力強く社会に向かう人を送り出し、福祉の役割を果たす福祉村は天に守 られ、御業をなしつつ希望をつないでいる日々に感謝です。

女性会の播いた種が、牧場で耕され、多種多様な必要に応えて展開される働きを誇 らしく思います。そして女性会の集いでいただいた賜物を各教会に持ち帰り、一人ひ とりの信仰が、証し人として加えられ、育て合いたいと思います。

困難な時代だからこそ、女性会の底力を発揮して次の時代に繋げられるよう願います。 役員の皆様のお働きに感謝申し上げます。







#### まきばの家・こどもの家の"収穫感謝祭"

まきばの家 小久保秀樹

日頃よりお世話になっている方々を招いて、11月8日に第27回収穫感謝祭が開 催されました。開会式では、松田施設長、稲垣後援会長、後藤牧師の話をいただき、 子どもたちが乗馬を披露しました。昼食では、自家製の野菜、味噌、米、そして乳製 品や牛肉をいただき、収穫したものに感謝して美味しいときを過ごしました。

食後は、恒例の牧場の借り物競争を行いました。満腹になった状態で、大人も子ど ももはしるはしる。目指すは一等賞です。ところが、借り物の二ワトリや仔牛、仔羊 が言うことを聞いてくれません。息も絶え絶えでなんとかゴールし、和やかな雰囲気 で閉会となりました。

ある一場面でのことです。子どもたちの感謝の想いを進行役の子どもが代読します。 牧場の開放的な雰囲気のなか、感謝の言葉が皆のなかに染み渡ります。「ごはんを作っ てくれてありがとう」「お母さん、この前服を買ってくれてありがとう」「話を聞いて

くれてありがとう」「スタッフが本気で自分と向き合っ てくれることが嬉しくて、感謝しています」このよう な子どもたちの言葉は私たちに問いかけます。当たり 前に子どもとして受けていいはずのものに、「ありがと う」と言うのです。この重さを受け止め、子どもたち と積み重ねた「収穫」が私たちの大切なものになって います。



### 

### 沼津教会での役員会

鈴木貴美子

12月13日東海教区の一番東に位置する沼津教会の一室をお借りして役員会をさ せていただきました。名古屋から三島で乗り換えて沼津へ。4名の姉妹に迎えていた だき、明るい会学に入りました。役員会の合間に、共に食事をいただき、楽しい交わ りの時も持ちました。ありがとうございました。

お話の中で、女性会存続のために悩まれ、何度も話し合われて問題を乗り越えてく ださったことをお聞きしました。また、これまで藤井姉、一杉姉からたくさんの助言 やご協力が私達教区役員にあったことも感謝いたします。

今期私達が訪問して役員会をさせていただいた教会は、西から大垣・なごや希望・ 名古屋めぐみ・浜名・新霊山・静岡・清水・小鹿・沼津教会でした。なかには、役員



(沼津教会の姉妹と役員)

のなり手がいないという相談も受けました。役員で なく連絡員でもと、どんなかたちでも、ぶどうの房 のひとつの姉妹として教区に繋がっていていただ きたいとお話させていただきました。

役員会、そして女性会の集いを通してたくさんの 兄弟姉妹との出会いと交わりは私達役員にとって 大きな恵み、喜びでした。

#### 今後の予定

- ・まきばの家にプレゼントを届ける 12月23日(火)
- · 会計監査 1月13日(月)
- ・東海教区女性会総会 2月28日(土) 名古屋めぐみ教会



#### ◇編集後記

今期最終のアガパンサスです。本号の写真に加え、1号から4号の表紙の写真も合わせて載せてみま した。きれいな花です。牧師先生はじめ、皆様のアガパンサスへの寄稿に感謝いたします。ご協力あり がとうございました。2015年も各教会女性会に神様のお支えがありますように。(S・M)